

栃木県吹奏楽連盟<季刊>広報誌 平成26年度 2号

吹奏太郎



「全力投球しよう！」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

タイトルの言葉は野球の言葉から出来たことだろうが、この素晴らしい言葉を吹奏楽界で使わせてもらうならばどんな時であろうか。吹奏楽で活動している人たちは90%以上の人が学校に関係する部員たちです。その部員たちを確保するのが4月・5月に最も確率が高いことと思います。この時期に全力投球して先生方の力を発揮しましょう。チャンスを逃してしまうと1年間の活動力を低下させることになりかねません。入学試験、卒業式、入学式と目まぐるしく多忙極まりない学校の師走の時期であります。頑張って頂けることをお願いいたします。

また、学年の変わり目により吹奏楽の活動に力の入らない時期でもあります。

一般的に部活動に目を向ける時間が少なくなってしまうと、部員たちも目的を失い、自由奔放に傾いてしまうかと思われま。

しかし、コンクールなどで上位とされる学校の指導者が、皆さん言うには「新入生が入学してくる前に2・3年生に対し個人の基礎的音作りが大切だよ」とよく耳にすることがあります。これを思うと活動の暇な時期で、指導者の多忙な時期こそ、一つのことに拘りを持って基礎練習に専念させることだと思います。ある程度楽器が出来ている生徒を、もう一度基礎の大切さを指導されることが上手になる秘訣だろうと思います。

また、この時期は卒業生が部活動を離れ、残された2・3年生にとっては先行きが見えず、見る力もまだ持てない生徒たちであるがため、何を行ったらいいのか迷いの時期でもあります。

目的や方向性を失ってしまうと、宙ぶらりんとなり、寒さや開放感も加わって無気力となり、退部の方向へと向かってしまう生徒も出てしまう恐れがあります。

こういう時期こそ、先生方が方向性を教え、基礎練習の大切さを導き、努力することに全力投球して下されることを希望します。

1 第15回 栃木県吹奏楽ソロコンテストの参加者の感想 ♪

「ソロコンテストで演奏をして」

石井小学校 菊池 千春



主催：石井小学校 平成26年度 第15回 栃木県吹奏楽ソロコンテスト
グランプリ 2014年2月1日(日) 宇都宮市文化会館 小ホール

私は2月1日に宇都宮市文化会館で行われた第15回ソロコンテストにマリンバで出場しました。

卒業を目前にして出たコンテストだったので「最後だからがんばろう」とやる気が出て練習を頑張ることが出来ました。

でもその反面、「最後だから失敗したらどうしよう」という心配や不安もありましたが、指導して下さった先生が自信を持って良いと言って下さったので、本番は自信を持って堂々と演奏しようと思いました。

本番では、いつもは私の他に部員12名と一緒に舞台上に立っているはずですが、今日は一人で演奏しなければなりません。その分責任も重大でプレッシャーも大きいです。

ですが、今まで一生けん命練習してきた成果を全部だして演奏しました。結果発表でグランプリを頂いた時は、とても嬉しくて信じられませんでした。

今年からJBAソロコンテスト関東甲信越大会で小学生の特別演奏をさせていただける事になり、3月1日に東京音楽大学で演奏をさせていただきました。私はこんな有名な大学で演奏をさせてもらえるとは思っていませんでした。いい経験になりました。本番では楽しく演奏でき、自分の全部を出きって演奏できたと思います。練習ではうまく出来なかったところも上手くいって良かったです。

私がここまでこれたのは指導して下さった先生方、応援してくれた部員のみんな周囲の方々がいたからだと思っています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、この経験を活かして中学校でも頑張ります。

「第15回 栃木県吹奏楽ソロコンテスト 感想」

小山市立小山城東小学校 川越 柚季



私がコルネットに出会ったのは、小学3年生の時でした。初めて、その音を聞いたとき、きれいな音だなあと思いました。それから、4年間練習していく中で、様々な音色、表情があることがわかり、どんどんコルネットが好きになりました。そして、いつかソロコンテストに出たいと思うようになりました。

いよいよ6年生になって、ソロコンテストに出場することになりました。本当に私で大丈夫なのか不安になりましたが、一生懸命練習しました。練習していくと、思うように吹けなくて、くじけそうになりましたが、先生や友だち、両親の応援に励まされ、のりきることができました。大会当日の朝の練習では、緊張でうまく音を出すことができなかつたのですが、本番、舞台上で吹き始めると、だんだん緊張がほぐれ、楽しく演奏することができました。

金賞、準グランプリをいただくことができて、とてもうれしかったです。もうすぐ小学校を卒業しますが、中学校でも演奏を続けていきたいです。

2 JBAソロコンテスト関東甲信越支部大会の参加者の感想♪

「JBA 関東甲信越支部 第13回 中学生・高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

茂木町立茂木中学校 吹奏楽部 2年 トランペット 檜山 沙南



私は、小学校4年生からトランペット始め、5年生のときに部活の顧問の先生から、「ソロコンテスト」を勧められました。私には戸惑いがありましたが、母も背中を押してくれたので初めて参加しました。そのときにグランプリを頂き、それから毎年ソロコンテストに参加するようになりました。そして今年、また予想していなかったグランプリに選ばれ、信じられない気持ちでした。そして次の大会に進むことができるうれしさでいっぱいでした。

今年演奏した「コンサートエチュード」という曲は、ダブルタンギングなどの技術面や、曲の変化が激しく表現面も難しいものです。長時間練習すると口が疲れてしまうため、短時間で集中して仕上げなければならず大変でした。練習では、県大会で納得のいかなかった部分を、集中的に練習して関東大会へ臨みました。

3月1日(日)、東京音楽大学Jスタジオで開かれた関東大会では、音出し室で、他の人の音色に圧倒され、不安と緊張で一杯でした。私は、朝早い出演順でしたが、本番では今までの練習を信じてステージに立ち、ミスもなく、今の自分で出せる精一杯の力で演奏することができました。自分の演奏後は、他の人の演奏を聴きましたが、体いっばいに表現して気持ちを伝えている演奏者も見られて、同じ中学生とは思えないほどでした。結果はトランペット専門の先生から「審査員賞」を頂くことができました。この賞は、日頃から、私のことを支えてくれた先生方、仲間、そして家族のおかげです。毎日楽しく活動できる学校の環境にとっても感謝しています。

今回この関東大会に出場できたことは、私にとってとても貴重な経験であり、成長できたように思います。この経験を今後にかし、日々練習に励み、更なる技術の向上と表現力を身につけるため、努力し続けていきたいと思っています。このような貴重な経験をさせていただき、大変ありがとうございました。

「第13回 JBA 関東甲信越支部 中学校・高校生管打楽器ソロコンテストに参加して」

作新学院高等学校吹奏楽部 副部長 2年 クラリネット 渡瀬 紀子

私がソロコンテストに出場しようと決めたのは11月、ソロコンテストまであと3ヶ月という時期でした。クラリネットを始めて5年目で、個人レッスンに通っていない私が本当にソロコンテストに出場していいのか不安でした。また作新学院として出場するに当たり沢山のプレッシャーがありました。同時にアンサンブルメンバーでもあったのでソロの練習だけに偏らないよう、またアンサンブルの練習をしていたからと言いつつにならないよう上手く両立する事が大変でした。

アンサンブル東関東大会が終わり私の気持ちは本格的にソロコンテストに向きました。中学の頃お世話になっていた先生のレッスンを受けに東京へも行き、遂にソロコンテスト当日がやってきました。たくさん練習してきたという自信で本番はあまり緊張する事なく演奏出来ました。結果発表、まさかグランプリを頂けるとは思っておらずとても嬉しかったです。同時に次の東京音楽大学で行われるJBA関東甲信越支部大会では、出るならば全国を狙おうと、前回よりも更に練習を重ねました。当日は自分の中では悔いのない演奏が出来ましたが、結果は優秀賞、全国へはかないませんでした。また県外のレベルの高さを改めて感じました。今回の経験をバンドに貢献していきたいです。

またソロコンテストを通してたくさんの方にお世話になりました。今後も出会いを大切に感謝の気持ちを忘れず活動して行きたいと思います。

3 第20回 東関東アンサンブルコンテストに出場団体の感想 ♪

「東関東アンサンブルコンテストに出場して」

高根沢町立西小学校 6年 福原美咲

私は5年生の冬に金管バンド部に出会いました。

一生懸命練習し、吹奏楽コンクールや小学校バンドフェスティバルにも出場しましたが、残念ながら次のステージに進めずとても悔しい思いをしたので、このアンサンブルコンテストに出場して東関東大会を目指しました。

毎日の練習の中で、チームリーダーとしてメンバーのみんなをまとめるのが難しく、「つらい」と思ったことはあったけれど、みんなでたくさん話し合う事により、心をつなげた演奏が出来ました。その結果、県代表になる事が出来たと思っています。

本番会場のステージ上では緊張しましたが、「この広い会場に私たちの音色が広がったら、どんなに気持ちがいいだろう！」と思いながら演奏しました。他校も息の合ったすばらしい演奏で、私たちとは違う表現の仕方や演奏方法があり、とても勉強になりました。今後の音楽表現の参考にしたいと思います。

中学校に進学しても、この東関東アンサンブルコンテストに出場した経験を生かして、吹奏楽を続けていきたいと思っています。



「第20回 東関東アンサンブルコンテストに参加して」

茂木町立茂木中学校 吹奏楽部 金管八重奏 堀江愛美
(堀江愛美、檜山沙南、永島礼奈、檜山理子、池崎玲奈、永嶋杏、堀江凌賀、宗形海裕稀)

私達、金管八重奏は、東関東アンサンブルコンテストに栃木県代表として出場させていただきました。去年に続き、今年も参加できたことをうれしく思っています。

アンサンブルは少人数なので、一人一人の音が重要になってきます。音が合わなかったり、リズムがずれたりなど、何度も大きな壁にぶつかっては、チーム全体で話し合い、工夫をしながら練習に励んできました。私たちの目標は、「東関東大会金賞」でした。練習では、歌を歌ったり、ダンスを踊ったり、物語を考えたりして、自分達らしい演奏をするのを夢見てきました。チームの中でぶつかることもありましたが、練習を積み重ねていくうちに、メンバー同士の絆が深まり、いつしか音も合うようになってきました。

1月25日(日)相模女子大学グリーンホールでの大会当日、「栃木県代表 茂木町立茂木中学校」というアナウンスが流れ、「テレシコーレ舞曲集」という曲を演奏しました。曲の最後の音が会場いっぱいに響き渡ったとき、感動で涙が出そうになりました。演奏中のうれしさ、楽しさ、感動を味わうことができ、とてもうれしく思っています。東関東大会で他県の演奏を聴いて、いろいろなことを学ぶことができました。他県の演奏はとても迫力があり、鳥肌が立ったのを覚えています。また、曲想に合った演奏のしかた、やわらかいところの音の出し方、気持ちの入れ方、体全体を使っての表現は素晴らしかったです。私達の結果は銀賞でしたが、自分達の精一杯の演奏ができたので満足しています。

最後に、ご指導してくださった先生方に感謝の気持ちで一杯です。東関東大会に、栃木県代表として演奏できたことを心から感謝しています。本当にありがとうございました。



「アンサンブルコンテストを通して」

作新学院高等学校吹奏楽部 トレーナー 2年 フルト 田口 恵美子

私達、木管5重奏は東関東大会金賞を頂く事が出来ました。

出場グループを選ぶため、校内予選を行いました。私達メンバーの中にも、他のグループで出て落ちてしまった人、木管5重奏の中でもメンバーの中でも入れ替えを行い、他のグループやメンバーが決まったあと、私達は集められました。曲も校内予選時とは違う曲になりました。楽譜をもらって一週間ほどでホール練習があり、ともに曲も通せずメトロノームが外せない状態からスタートしました。

ホール練習から二週間ほどたったころ、地区予選が行われ、私達は一位通過をしました。そのため、県大会では、どこか気が抜けてしまい、サキソフォン七重奏に負け、二位通過をしました。トレーナーの先生から「いつもみんなは楽しいだけで終わっているよね。みんなは、全国大会を目指しているんじゃないの。良い演奏をすることも大切かもしれないけど、全国大会を意識した練習をしないとだめだよ。」と、言われ、私達はやっと目が覚めました。その後、東関東大会で次につながる良い演奏をするべく、必死に練習を重ねました。縦の流れ、横の流れ、安定したテンポ感、音程、音色など、とことんこだわり続けました。

東関東大会では、自分たちのペースでいつも通りの演奏をすることが出来ました。結果は金賞。あと一步の所で全国大会には届きませんでした。アンサンブルコンテストを通して沢山の事を学ぶ事が出来ました。

「東関東アンサンブルコンテストに出場して」

作新学院大学 吹奏楽部 木管五重奏リーダー 樋山 好美

今回作新学院大学としてアンサンブルコンテストに出場し、去年の悔しさを胸に練習しました。私達は「本番を楽しむ!」という事を第一に考えステージに上がりました。高校時代以上に緊張もしましたが、練習通り楽しく演奏することで結果に繋がったと思います。

良い演奏をする上でまず、いつも通り楽しく演奏するという事の大切さを改めて実感しました。今回の経験を次へ生かして行けるよう、練習を重ねていきたいと思っています。



「第20回 東関東アンサンブルコンテストに出場して」

ウィンドアンサンブル宇都宮 鈴木 章郎

平成27年1月25日、神奈川県相模原市で開催された東関東アンサンブルコンテスト職場・一般の部に栃木県代表として出場させていただきました。

ウィンドアンサンブル宇都宮としての東関東大会出場は、今回で2回目になります。働きながらの楽器の練習は、効率よく進めなければならないのでとても大変です。学生時代は、少なくとも毎日楽器を組み立てて音を出したり、参加メンバーとはほぼ毎日顔を合わせていろいろと曲について議論しあったりすることができますが、働いているとうまくいきません。メンバーと合わせるのは週に1度市民センターの夜間しか都合が合わず、4重奏なのに4人揃って音を出せるのは20時以降。このような練習スケジュールでもコツコツと楽曲を分析しながら音を出し、自分たちらしい音を出すための秘策を考えていました。

相模女子大学グリーンホールに着いて、県大会にはない雰囲気を感じ取ることができました。他団体の演奏にも様々な工夫が込められていてとても参考になりました。楽器を組み立てていざ誘導されたときに、緊張していたわけではないと思うのですが今まで積み上げてきたものがなんとなく抜けてしまい、本番は思い通りの演奏にはなりません。しかし、県内にはない響きのホールで音を出せたことは良い経験となりました。

社会人になって、現在も楽器を続けられることに幸せを感じます。休みの日には、学生時代から続けているクラリネットを片手に仲間たちと合わせています。時間の作り方、少ない時間での音の作り方は、工夫ひとつで何とでもなると思います。楽器に触れることが出来なくなってしまった大人のみなさん！是非、時間を見つけて少しずつ楽器を始めてみませんか。きっと、学生時代にはない楽器の楽しみ方を再発見することが出来ると思います。そんな雰囲気職場一般の部が活気づいてくるといいなと思っています。



4 東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会報告♪

2015年2月22日(日)に千葉県幕張メッセイベントホールで、東関東吹奏楽連盟創立20周年記念演奏会が盛大に開催されました。出演団体は東関東のみならず、全国にもその名を轟かせている有名どころが演奏しました。事前にチケットは指定席から即日完売の盛況ぶりでした。もちろん、会場は超満員で、熱気がむんむんしていました。それぞれの団体の演奏やパフォーマンスは聴衆を魅了し、ウエルカム演奏を含め、全21団体が出演し、ほぼ3時間連続のステージが続き、トイレに席を立つ暇も惜しいという状況でした。とりわけグランドフィナーレでは、2000人の出演者全員による華やかなエンディングによって会場の熱気は最高潮に達し、拍手が鳴りやみませんでした。すべて柏市立柏高校の石田修一先生のプロデュースによるものですが、他支部(東関東以外)の来賓の方々からは「流石は東関東である。とてもまねはできない。」との賞賛の声が聞かれました。

さて、記念演奏会後の記念式典では、会場を幕張メッセから至近のホテルグリーンタワー幕張に移し、全日本吹奏楽連盟理事長の丸谷明夫先生をはじめ、多数の来賓や表彰される優秀指導者や優秀団体の代表が出席のもと、行われました。常総学院高等学校吹奏楽部の木管三重奏の記念演奏で盛り上がりました。本県関係の表彰対象者及び表彰団体は以下の通りです。受賞者・受賞団体の皆さんおめでとうございます。

また、記念式典後には、祝賀会が開かれ、出席者は20周年(関東吹奏楽連盟発足から70周年)を祝いました。読売日本交響楽団の金管五重奏と寺田由美氏のマリimba演奏が華を添えました。

「優秀指導者」

星 弘敏

平成7年以降全日本吹奏楽コンクールに5回以上出場した指導者に贈られました。星先生は宇都宮市立陽西中学校吹奏楽部を5回普門館のステージに導きました。



「優秀団体」

全日本アンサンブルコンテストに連続3回出場団体

F・c l e f

東関東吹奏楽コンクールに15回以上出場団体

作新学院高等学校(20回)

矢板ウインドオーケストラ(20回)

白鷺大学ウインドオーケストラ(20回)

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会」に出演してきました

栃木県立宇都宮南高等学校 吹奏楽部 顧問 西垣 徹

東関東吹奏楽連盟創立20周年記念演奏会に、栃木県高校選抜バンドとして参加してきました。作新学院高、宇都宮北高、宇都宮南高の3校で結成した総勢130人のメンバーで、行進曲「ふるさと栃木」と指定曲である「たらこ・たらこ・たらこ」の2曲を、作新学院高の三橋英之先生の指揮で演奏しました。



右の写真は、最後のフィナーレの様子です。○で囲んだあたりが栃木県の高校生です。右の青い衣装の習志野高校、左の赤い衣装の柏高校の両校が入場行進曲「東関東よ永遠なれ」を演奏する中、栃木県は「県民の歌」を歌いながら入場しました。各県の入場が完了し、最後に東関東吹奏楽連盟創立20周年記念曲「永遠に奏でよう」でフィナーレの幕が下りました。



「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会に出演して」

作新学院吹奏楽部 部長 2年 富山 穂乃香

私達は、2月22日に東関東20周年記念演奏会が幕張メッセで開催され、栃木県代表として行きました。栃木県・茨城県・千葉県・神奈川県からの20団体が演奏し、今回は作新学院としてだけではなく、栃木県高等選抜バンドとして宇都宮北高・宇都宮南高の3校合同で演奏しました。

東関東黄金バンド総出演。そんな中始まったリハーサルではほかの学校の演奏、演技に圧倒されてしまいました。この20年間に流行った曲を各団体が演奏することになっており、それぞれの団体がただ演奏するだけでなく、その曲に合った衣装を着て歌を歌ったり、ダンスをしたり、また、ご当地キャラクターが来たりするなどの工夫を凝らしていました。緊張感のある中、本番が始まり作新学院では「夜空ノムコウ」「カリビアン・サンダンス」を演奏し、選抜バンドでは、「たらこたらこたらこ」「ふるさと栃木」を全員がはっぴを着て演奏しました。締め太鼓や和太鼓を使うなど、栃木県を感じさせる演奏ができたと思います。

また、最後のフィナーレでは、各県ごとに県民歌を歌って入場し、出演者全員で生演奏に合わせて「永遠に奏でよう」と「蛍の光」を合唱しました。曲の途中から会場の灯りが消え、最後にはペンライトで「20」のマークが見えフィナーレが終了しました。

今回私はこの経験を通して、改めて皆で演奏する素晴らしさを感じました。また、機会があったら是非演奏させて頂きたいです。

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会に出演して」

宇都宮北高等学校 吹奏楽部 部長 天池 美都

今回、東関東吹奏楽連盟創立20周年記念演奏会に栃木県高等学校選抜バンドの一員として参加させて頂き、まず本番に至るまでの作新学院・宇都宮南高校の皆さんとの合同練習を通してたくさんのお話を学ぶことができました。普段、他校と一緒に練習する機会は少なく、北高にはない練習方法や部内の係分担などを知りとても勉強になりました。

そして演奏会当日、初めて幕張メッセで演奏し、他団体のレベルの高いステージや行動の様子を間近で見て、多くの刺激を受けた1日となりました。その年を代表する曲を年代順に並べたプログラムも面白い演出で、20年という時の流れを感じました。強豪校揃いでどれも素晴らしい演奏でしたが、特に心に残ったのは出演者全員で合唱したフィナーレです。皆で一つの音楽をつくる喜びを改めて感じられたように思います。

また、補助員としてサポートをしてくれた市立船橋高校の生徒さんたちはとても親切で、そのしっかりとした仕事ぶりは同じ高校生ながらとても頼もしく感じました。私達も見習いたいと思います。

間もなく新入部員を迎えるに当たり、新体制としてバンドの基礎を固めなければいけないこの時期にこのような大きな演奏会に出演させて頂けたことは、今後の活動の大きな糧となりました。これからも東関東の仲間と切磋琢磨し、更に成長できるよう努めていきたいです。

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会」に参加して

宇都宮市立陽西中学校 吹奏楽部 部長 大島 望乃

私たち陽西中吹奏楽部は、清原中吹奏楽部・鬼怒中吹奏楽部・星が丘中吹奏楽部・宇都宮東高校附属中吹奏楽部の皆さんと、星弘敏先生の指導のもと、「栃木県中学生選抜バンド」として今回の記念演奏会に参加させて頂きました。

私たち陽西中吹奏楽部にとっては久しぶりの東関東。しかも幕張メッセという大きな舞台での演奏なので、最初は独特の雰囲気から圧倒されてしまいました。

そして本番の演奏では緊張が高まり、上手く演奏できるかどうか不安で一杯になりましたが、星先生のアドバイスや、今まで練習してきた日々を思い出して、一生懸命本番の演奏にのぞみました。

私たちのバンドは栃木県を思い切りアピールしようというテーマで、「とちまるくん」「ミヤリーちゃん」「たかうじくん」が私たちの演奏に合わせて一緒に踊ってくれました。そのおかげで本番の演奏はとても楽しく演奏できたと思います。

私たち陽西中吹奏楽部にとって、今回のような素晴らしい時間をすごさせてただけでなく、本当に感謝しています。これからも今回の経験を忘れずに、よりよい演奏を目指して頑張っていきます。

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会」に出演させて頂きました

宇都宮市立清原中学校 吹奏楽部 部長 山口 碧莉

今回20周年の記念演奏会に出演させて頂いたことは、大きな刺激になりました。幕張メッセで演奏が出来ただけでなく、東関東や全国の常連校の方々と同じ舞台上に立てたことを誇りに思っています。

はじめに5校で合同バンドを組むと聞いた時は、正直不安でした。事実、1回目の練習は惨憺たるものでしたが、回を重ねるごとにまとまるようになりました。

当日、幕張メッセに一步入った時のワクワク感は忘れません。あいにくの雨だったにもかかわらず、会場は超満員でした。私達は知らない場所で多くの人達に囲まれ、落ち着かない気持ちでした。「雰囲気のにまれてはいけない」強く反省したことです。

演奏は練習通りにいかなかったところもありましたが、お客さんに喜んでいただけて良かったです。今回、この演奏会に参加させていただく機会を下された先生方、ありがとうございます。そして一緒に演奏した合同バンドの皆さん、ありがとうございます。この経験を生かし、日々努力していきたいと思います。

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会に参加して」 ～学び・感じたこと～

宇都宮市立鬼怒中学校 吹奏楽部 部長 岡 愛七美

私達は、2月22日に幕張メッセで行われた東関東吹奏楽連盟創立20周年記念演奏会に栃木県中学生選抜バンドのメンバーとして参加させて頂きました。他県の学生や一般バンドの演奏を生で聴き、純粋に音楽の楽しさやすごさを感じました。スッと心に染み込むようなハーモニーや音色など、安定感のある演奏を一日で何度も聴きました。エンディングリハーサルでの高校生の演奏やリハーサル室を通るときに聞こえてくるハーモニー。そのどれもが自然な音で緻密に作られているものでした。私は演奏前から、吹奏楽の濃い音に触れ、心がわくわくしていました。

私達の出番が近づき、リハーサルの時間になりました。広い廊下のようなところで吹いたのですが、椅子がないためチューバパートの私達は困ってしまいました。「正座して吹く？」とある子が言いました。その後皆で正座をして音だしをしました。このとき、臨機応変に対応することの大切さを改めて感じました。何か困ったときにも柔軟に対応しようと思いました。

いよいよ本番になり、ステージに入場しました。360度どこを見渡してもお客さんでいっぱいでした。このような機会を頂き、ここで演奏できることを幸せに思い、「精一杯楽しんで吹こう！」と思いました。演奏中、スポットライトを浴びながら、いつまでも吹けたらいいのと思っていました。(演奏に集中しなければいけませんわ。)
1曲目が終わり栃木県の3人のゆるキャラ達がゲストとして来てくれました。そのとき出演者もお客さんも笑顔だったことが印象に残っています。2曲目の演奏も終わり、あっという間の7分間でした。私は演奏が終わり起立した時に見たあの光景を一生忘れないと思います。

私は吹奏楽が大好きです。しかしこの演奏会に参加して、吹奏楽の深さや魅力を更に感じる事ができました。音で何かを伝えようとする一人一人の思いや努力で、私たちの演奏は変化し、進化できると思います。今回の演奏会で学び・感じたことを今後の部活動に生かしていきたいです。そして、日々の努力を重ね、音への想いを厚くして、自分たちの演奏をより進化させていけるよう頑張ります。

「東関東吹奏楽連盟 創立20周年記念演奏会に参加して」

栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 吹奏楽部 2年 福田しおり

この記念すべき演奏会に出演することが出来たことはとても光栄なことであり、同時に、様々なことを学ぶことができました。他団体の演奏の素晴らしさやハーモニーの美しさはもちろんのことですが、私が一番印象に残っているのは、参加していた人たちの時間の使い方です。空いている時間を無駄にすることなく、歌の練習や曲の流れ、振付の確認などに有効に使っていました。その一見当たり前に見える心がけが積み重なって、素晴らしい演奏につながるということを実感しました。また、会場では会う人々がみな「こんにちは」とさわやかにあいさつを交わし、小中学生も高校生もみな、同じ音楽を志す者としての連帯感を感じました。

この貴重な経験を生かし、今後も聞く人の心に響くハーモニーを目指して努力していきたいと思います。

5 コンサート情報 ♪

♪ 第10回栃木県立小山城南高等学校吹奏楽部定期演奏会

平成27年3月22日(日) 14時開演

小山市文化センター・大ホール 入場無料

演奏曲目: ザ・レッド・マシーン、ステージドリル

2015～Disney music on stage～

ジャパニーズ・グラフィティ X (時代物絵巻) 他

♪ 第2回宇都宮市立星が丘中学校吹奏楽部定期演奏会

平成27年3月27日(金) 14時開演

栃木県総合文化センター・サブホール 入場無料

演奏曲目: 未定

♪第24回栃木県立大田原高等学校合唱部・吹奏楽部定期演奏会
平成27年3月27日(金) 17時30分開演
那須野が原ハーモニーホール 入場無料
スペシャルゲスト:ピアノ 伊藤 伸 2009年
第78回日本音楽コンクール ピアノ部門 第1位
演奏曲目:吹奏楽 ラブソディ・イン・ブルー, オリンピックマーチ, 千本桜 他
合唱 ~歌劇な男たち2014~いつからか野に立つて, じゅびれえしょん, ジブリメドレー 他

♪第13回栃木県立宇都宮中央女子高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年3月28日(土) 14時開演
宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目:喜歌劇「こうもり」序曲, Welcome to the colorful world, アニメヒロイン・メドレー他

♪第10回栃木県立石橋高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年3月28日(土) 14時開演
小山市文化センター・大ホール 入場無料
演奏曲目:バレエ組曲「青銅の騎士」より, ディズニーファンティリュージョン,
企画ステージ 音楽の旅~The first step to take~ 他

♪第4回 East Music concert
(栃木県立宇都宮東高等学校・附属中学校音楽部)
平成27年3月29日(日) 13時30分開演
栃木県教育会館・大ホール 入場無料
演奏曲目:未定

♪宇都宮ウインドクルーコンサート 第17章
平成27年4月19日(日) 14時開演
宇都宮市文化会館・大ホール
入場料 前売り・大人¥8000-(当日券は¥10000-)
高校生以下¥5000-
演奏曲目:エル・カミーノ・レアル, 鷲の舞うところ, ひまわりの約束 他

♪第29回宇都宮北高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年5月3日(日) 13時30分開演
宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
入場料 指定¥12000- 一般¥8000-
学生¥5000-(当日券は各¥2000-増)
ゲスト 安部圭子(マリンバ)
演奏曲目:サウンド・オブ・ミュージック, The WAVE
~独奏マリンバと吹奏楽のための小協奏曲~他

♪第20回マーキュリーバンド定期演奏会
平成27年5月4日(月・祝) 14時開演
宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目:「ウエスト・サイド・ストーリー」より“シンフォニックダンス”, いまさら聞けないストーリー~映画編 他

♪第7回宇都宮南高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年5月6日(水・祝) 13時半開演
宇都宮市文化会館・大ホール 入場無料
演奏曲目:ボレロ, オペラ座の怪人 他

♪作新学院高等学校吹奏楽部 フレッシュ・グリーンコンサート2015
平成27年5月31日(日) 15時開演予定
宇都宮市文化会館・大ホール
入場料 前売り・大人¥8000- 高校生以下¥5000-
(当日券は各¥2000-増)
演奏曲目:2015 全日本吹奏楽コンクール課題曲, 2015 ニュー・サウンズ・イン・プラス, ステージドリルショー ジブリ de マーチング「千と千尋の神隠し」より 他
問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826
平日16時~19時 休日9時~18時

♪第50回真岡高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年6月20日(土) 15時開演
真岡市民会館 入場無料 演奏曲目:未定

♪2015作新楽音会DreamConcert
平成27年6月28日(日) 14時開演
栃木県教育会館・大ホール 入場無料 演奏曲目:未定

♪作新学院高等学校吹奏楽部 第50回記念 定期演奏会
平成27年10月12日(月・祝) 15時開演予定
宇都宮市文化会館・大ホール
入場料 前売り・大人¥8000- 高校生以下¥5000-
(当日券は各¥2000-増)
演奏曲目:2015 全日本吹奏楽コンクール課題曲, 2015 ニュー・サウンズ・イン・プラス, ステージドリルショー ジブリ de マーチング「千と千尋の神隠し」より 他
問い合わせ先 吹奏楽部090-3318-6826
平日16時~19時 休日9時~18時

★すでに3月に開催されたコンサートの紹介★

♪第9回矢板中央高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年3月15日(日) 14時開演
矢板市文化会館 入場無料

♪第2回鹿沼南高等学校吹奏楽部定期演奏会
平成27年3月15日(日) 14時開演
鹿沼市民文化センター 入場無料

6 クリニック情報

2015 JAPAN BAND CLINIC 第46回 日本吹奏楽指導者クリニック

日時:平成27年5月15日(金)~17日(日) 会場:静岡県浜松市・アクトシティ浜松

※詳細はホームページで確認をしてください。

◆初級指導者講座

○バンドスタディⅠ 吹奏楽指導とは? バンドを指導するうえでの指導理念、楽器の基礎知識、合奏の基本、活動の基本について解説します。

講師:小澤俊朗(日本バンドクリニック委員会代表)

○バンドスタディⅡ 合奏指導法 基礎編 限られた時間で最大の効果を得ることができるバンド指導の秘訣、及びレベルアップに必要な基礎合奏のポイントについて解説します。

講師:石田修一(日本バンドクリニック委員会委員)



- **初めての吹奏楽指導 ライブラリー編** バンドの編成や目的に合わせた選曲のアイデアや楽譜購入の方法、著作権等について解説し、おすすめの曲を紹介します。
講師：後藤 洋 (日本バンドクリニック委員会委員)
- **初めての吹奏楽指導 運営編** 少子化などさまざまな問題をテーマに、バンド運営についてお話しいたできます。
講師：大滝 実 (武蔵野音楽大学講師)
玉寄 勝治 (羽村市立羽村第一中学校)
西尾 秀樹 (京都府立京都すばる高等学校)
平出 健 (北海道剣淵町立剣淵中学校教諭)
- **指揮法講座 基礎編** マーチを題材に、モデルバンドを実際に指揮し、指揮の「基礎」を学ぶ講座です。
講師：大井 剛史 (指揮者)
- **マーチング講座** 前半は基礎的な動作のレクチャー及び日頃の練習の方法(レベルアップ)について学び、後半はモデ

ルバンドの演技を通してマーチングの楽しさ、構成について学びます。

講師：山崎 昌平 (日本バンドクリニック委員会委員)

- **初めてのチャレンジ！ドリルデザイン教室**「マーチング活動を始めたいけど、コンテをお願いする予算が…」そんな指導者の方必見の講座です！まずは運動会や体育祭、地元でのパレード演奏など、簡単なコンテ作成の方法を学びます。
講師：田中 久仁明 (一般社団法人日本マーチングバンド協会理事長)
- **マーチングパーカッション講座** マーチングパーカッションの奏法と練習方法について学びます。
講師：生乃 久法 (一般社団法人日本マーチングバンド協会公認指導員)
- **演奏の前に 木管・金管・打楽器編** 演奏前の楽器のチェックポイントについて解説します。

◆中級指導者講座

- **バンドスタディⅢ 合奏指導法 ステップアップ講座** 効果的な合奏指導のアプローチを考える講座です。楽曲を用いモデルバンドを通して学びます。
講師：小野川 昭博 (日本バンドクリニック委員会委員)
- **レパトリー講座** 2015年に海外から出版された新譜や作品、話題曲をモデルバンドの実演と共に紹介します。
講師：小野川 昭博 (日本バンドクリニック委員会委員)
- **指揮法講座 応用編** 楽曲を使用し、引き続きモデルバンドを指揮して、より実践的な指揮法について学びます。受講者にはモデルバンドを短時間ではありますがリハーサルしていただき、リハーサルテクニックについても学びます。
講師：大井 剛史 (指揮者)

- **楽器別講座** 楽器の構え方や姿勢・呼吸のしかた、各種奏法の紹介、正しいトレーニング方法、バンド全体におけるそれぞれの楽器の特長・位置づけについて、実技を通して解説します。

講師：フルート / 垣野内 英博 (芸術文化創造育成センター (ACCE)メンバー)

トランペット / 上田 じん (シエナウインドオーケストラ)

クラリネット / 橋本 真介 (広島交響楽団)

チューバ / 児玉 隆也 (チューバ奏者)

打楽器 / 高鍋 歩 (大阪市音楽団)

ドラムス / 竹内 武 (ドラム奏者)

◆上級指導者講座

- **バンドスタディⅣ 保科洋の『音楽表現法』** 豊かな音楽へのアプローチ、リズムの表現について、モデルバンドの演奏を通して学びます。
講師：保科 洋 (日本バンドクリニック委員会名誉顧問)
- **私とE♭管チューバ** ノルウェー生まれのチューバ奏者エイリック・イエリディヴィックが、数多くの金管バンドを指導する中、吹奏楽・金管バンドにおけるE♭管チューバの可能性について語ります。チューバが専門ではない指導者必

見です。

講師：エイリック・イエリディヴィック (チューバ奏者)

- **日常練習の公開**「普段どんな練習をしているの？」全国トップレベルの羽村市立羽村第一中学校・精華女子高等学校が日常の練習をすべて公開します。

講師：15日 玉寄 勝治 (羽村市立羽村第一中学校)

16日 藤重 佳久 (精華女子高等学校)

◆特別講座

- **楽しいコンサートのための演出と構成** モデルバンドの演奏・演技を通して、ステージにおける効果的な演出と構成について学びます。
講師：石田 修一 (日本バンドクリニック委員会委員)
- **吹奏楽とともに (座談会)** 日本を代表する吹奏楽指導者に、吹奏楽に対する想いを語り、今後の吹奏楽活動への提言をしていただきます。
講師：丸谷 明夫 (日本バンドクリニック委員会名誉顧問)
石田 修一 (日本バンドクリニック委員会委員)
山崎 昌平 (日本バンドクリニック委員会委員)
藤重 佳久 (精華女子高等学校)

- **小編成バンドの指導I 合奏指導編** 少子化に伴い児童・生徒数が減少する中、小編成バンドの指導法の極意を伝授します。
講師：金田 康孝 (日本バンドクリニック委員会委員)

- **小編成バンドの指導II 選曲編** ～学校行事からコンサートまで～ 小編成バンドの様々な活動の場面におすすめの曲を実演でご紹介します。

講師：金田 康孝 (日本バンドクリニック委員会委員)

- **バンド指導に役立つリトミック講座** リズムやテンポ・強弱などの音楽を構成する要素を、実際に身体を使って体験していただきます。バンドの表現力アップにきっと役立つ講座です。
講師：緒形 まゆみ (元中学校教諭、吹奏楽指導者)

- ポップス講座 サクソフォン奏者織田浩司氏が、ジャズ・ポップスの演奏法と楽しいステージづくりについて提案します。
講師：織田 浩司(サクソフォン奏者)
- ハーモニーディレクター活用講座 なぜ吹奏楽指導にハーモニーディレクターが必要なのか？合奏指導・パート練習におけるハーモニーディレクターの効果的な活用方法を説明します。
講師：中村 俊哉(バンドディレクター)

◆小学校指導者講座

- 小学校指導者講座Ⅰ レパートリー研究 さまざまな場面で活用できる金管バンドのための楽曲とその活用法を紹介します。同時に金管バンドのサウンドも堪能できます。
講師：座間 吉弘(バンドディレクター、トロンボーン奏者)
- 小学校指導者講座Ⅱ 音楽表現法 モデルバンドの演奏を通して、楽譜の見方、楽譜に書かれた表現の要素の理解の仕方と、実際の演奏への生かし方について学びます。
講師：後藤 洋(日本バンドクリニック委員会委員)
- 小学校指導者講座Ⅲ パネルディスカッション
「だから大切!小学校の管楽器活動」をテーマとしたパネルディ

◆その他

- 相談コーナー クリニック委員をはじめ、出演講師による相談コーナーです。楽曲・編成などの相談から、バンド運営に至るまで、個別にご相談いただけます。
- 楽譜・CDの展示販売 吹奏楽譜・アンサンブル譜などを多数展示しておりますので、その場でご購入いただくことができます。会期中は常時、展示・販売を行っています。
- 楽器展示・試奏 共催の株式会社ヤマハミュージックジャパンが楽器展示を行います。楽器の試奏も可能ですので、試奏ご希望の方は必ずマウスピースをご持参ください。会期中は常時、楽器展示を行っています。
- 出展ブース 全国の大学・専門学校や、音楽関連の出版社、各

- 「即レコAir」活用講座 日々の合奏練習を部員全員で共有できる「即レコAir」。その基本的な機能と効果的な活用方法について紹介します。

講師：甘粕 宏和(バンドディレクター)

スカッションです。

講師：津田 正之(文部科学省教科調査官)

織田 浩司(サクソフォン奏者)

玉寄 勝治(羽村市立羽村第一中学校)

櫻井 聖子(全日本小学校管楽器教育研究会会長)

小澤 俊朗(日本バンドクリニック委員会代表)

コーディネーター：後藤 洋

(日本バンドクリニック委員会委員)

※Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの講座は関連して行われます。

種団体がブースを出展します。この機会にぜひお立ち寄りください。会期中は常時、出展を行っています。

- 管楽器工場見学 ◆5月15日(金)実施 ヤマハの管楽器工場見学ツアーにご参加いただけます。参加ご希望の方は、事前にお申し込みいただき、当日、参加費¥1,000をお支払ください。

- 交流会 ◆5月15日(金)・16(土)実施 全国の吹奏楽指導者と親睦を深める場・情報交換の場としてご利用ください。当日、アクティビティ浜松中ホールロビーにてチケットを販売いたします。

編集後記

栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長 三橋 英之(作新学院高校) 

2015年2月22日(日)に、東関東吹奏楽連盟は創立20周年記念演奏会を盛大に開催しました。10月18日(日)には、栃木県吹奏楽連盟が創立60周年記念の式典を開催します。ゲストには東京俊成ウインドオーケストラ正指揮者であり、本県出身若手指揮者の第一人者として活躍している「大井剛史」さんを指揮者に迎え、中学生・高校生・一般の3つの選抜バンドを指揮していただきます。東関東吹奏楽連盟創立20周年記念演奏会のような派手なことはできませんが、栃木県吹奏楽連盟らしく、創立60周年を祝福したいと考えています。ぜひ、皆様のご協力をお願いします。

さて、それぞれのバンドは新体制になって、早半年が過ぎようかといったところでしょうか。新チームのできばえはいかがでしょうか？少子化に伴って、ますます規模の小さいバンドが多くなっているとは思いますが、そこに集まって音楽に没頭している子どもたちは、純粋にうまくなりたいと思って活動にやってきました。先生たちも忙しく、なかなか向き合ってもらえないかもしれませんが、どうか工夫して練習場に行き、感動する音楽作りに少しでも、関わっていただき、楽しくやりの感じる、やってて良かったと皆が言える活動を続けましょう。

また、広報誌に対する要望・意見・感想などお待ちしております。是非お寄せください。